

第94回 日本感染症学会総会・学術講演会

日 時: 2020年4月16日(木)~18日(土)

場 所: グランドニッコー東京 台場

会 長: 舘田 一博 (東邦大学)

テーマ: 感染症学の新時代を切り拓く — “探求する心”を誇りとして —

特別講演

HIV 治療薬 AZT 発見の物語 満屋 裕明 (国立国際医療研究センター)

インフルエンザ危機 河岡 義裕 (東京大学)

招請講演

JAID-IDSIA セッション 調整中

JAID-ESCMID セッション 調整中

JAID-ISC セッション 調整中

JAID-ICID セッション Marc Mendelson (University of Cape Town)

基調講演

メカニズムから考える一歩先の敗血症治療 松田 直之 (名古屋大学)

モノクローナル抗体から抗体医薬への応用 浦野 健 (島根大学)

“機能水”の科学/化学と可能性 堀田 国元 (機能水学会)

アジュバントから考える次世代ワクチン 戦略 石井 健 (東京大学)

サルコイドーシスと *Propionibacterium acnes* における新知見 江石 義信 (東京医科歯科大学)

マクロライドの不思議な作用: 進化を続けるマクロライド療法 木戸 博 (徳島大学)

NTD と対峙する 山田 陽城 (DNDi Japan)

教育講演

“感染症特殊検査マップ” — 症例と特殊検査を繋ぐ — 笠原 敬 (奈良県立医科大学)

僻地で世界最先端医療を目指す -NEJM レビューを通して- 仲田 和正 (西伊豆健育会病院)

熱帯医学への挑戦 有吉 紅也 (長崎大学熱帯医学研究所)

CDC ガイドラインの行間を読み解く

矢野 邦夫（浜松医療センター）

行政・アカデミアの連携・協力の重要性

井口 豪（厚生労働省結核感染症課）

PMDA が目指す臨床試験の将来像

南 博文（PMDA）

僕の考える感染症新時代 ―日本から世界への情報発信―

岩田 健太郎（神戸大学）

エビデンスに基づく感染制御, エビデンスを創る臨床研究

英語論文への挑戦 ―初心者役に立つ“いろは”と“パール”―

熱血感染症教育 “感染症教育は俺に任せろ”

ソリスロマイシン開発の歴史 ―失神発作のメカニズムから明らかになった真実―

“1枚の写真” 感染症 Spot Diagnosis

PMDA が目指す臨床試験の将来像

感染症研究のすすめ

感染症研究のすすめ ―真菌感染症を例に―

川上 和義（東北大学）

感染症研究のすすめ ―小児臨床研究を例に―

齋藤 昭彦（新潟大学）

感染症研究のすすめ ―ASP 研究を例に―

高山 和郎（東京大学）

感染症研究のすすめ ―疫学研究を例に―

“感染症を極める” セッション

感染症を極める “病 理”

堤 寛（藤田医科大学）

感染症を極める “画 像”

芦澤 和人（長崎大学）

感染症を極める “診 察”

徳田 安春（群星沖縄臨床研修センター）

“Top 10 Paper” セッション

Top 10 Paper “疫 学” 次の研究テーマは？

Top 10 Paper “病 態” 次の研究テーマは？

Top 10 Paper “診 断” 次の研究テーマは？

Top 10 Paper “治 療” 次の研究テーマは？

感染症の今日の問題点

寄生虫感染症 ―グルメ化・国際化の中で変化するリスク―

真菌感染症 —診断・治療に山積する課題と将来展望—

ウイルス感染症 —ボーダレス化の中で増大する危険—

非結核性抗酸菌症 —慢性化・難治化のメカニズム解明に向けて—

マスクギャザリングと感染症

事例から学ぶ “髄膜炎菌感染症”

事例から学ぶ “麻疹, 風疹, 水痘”

事例から学ぶ “結核”

事例から学ぶ “熱帯ウイルス感染症”

東京オリンピック・パラリンピック特別企画

感染症クイック・リファレンス 2020 —東京オリ・パラに備えて— 川名明彦(防衛医科大学)

シンポジウム(90~120分)・ミニシンポジウム(60分)・教育講演(30分) 候補

“研究”

エビデンス創出につながる臨床研究

ハイインパクト・リサーチ・シンポジウム

病原体と宿主応答から考える感染症の“なぜ”

微生物検査から始める感染症研究 —検査技師とのコラボレーション—

バイオフィルム・シンポジウム: 単細胞生物の多細胞的一面として

Accepted Paper セッション

インフルエンザと肺炎球菌感染症 (感染症、細菌、ウイルス、生体防御合同シンポジウム)

「臨床的課題を基礎からサイエンスし解決策を探る - インフルエンザと続発性肺炎球菌性肺炎を例として」

感染症領域でのデータベース研究の利点、注意点

“教育”

肺炎診療に求められるエビデンス —ガイドラインを生かし, ガイドライン改訂を考える—

集まれ若手医師! —感染症医としての“キャリアいろいろ”

米国と日本・感染症事情 —日本が優れている点, 日本が学ばなければいけないポイント—

専門医制度が求める未来の“感染症医”

感染症専門医試験対策 —サマースクール・ベーシックスクールの内容を中心に—

解説 “感染症アトラス”

ガイドラインの落とし穴 —思考停止からの脱却を目指して—

症例から学ぶ感染症セミナー

“AST”

AS 活動の実践と応用 —求められる医師と薬剤師の連携—

AST 活動に必要な知識・経験と覚悟

薬剤師が担う AST の役割 —専門性を生かし、パフォーマンスを高める—

上気道感染症に対する抗菌薬の使い方 —経口セフェムの生かし方—

症例から学ぶ ASP セミナー —本症例の疑問点と次に繋げる考察—

“創薬・新技術”

Hollow-Fiber Infection Model：創薬促進を加速する新技術

創薬・育薬シンポジウム —世界の動向、日本のパイプライン—

次世代感染症診断法 —30 分の壁を破る革新的技術—

次世代シーケンサーが切り拓く未来の感染症診療

“学際化”

医師会連携企画 —開業医と専門医の連携— 釜菴 敏（日本医師会）

総合診療医に求められる感染症の知識と経験（プライマリケア・連合学会、病院総合診療医学会）

生物学的製剤と呼吸器感染症（呼吸器学会、リウマチ学会との連携シンポジウム）

呼吸器感染症インターネットサーベイ（呼吸器学会との連携シンポジウム）

透析患者における感染症の特徴と対策（透析学会との連携シンポジウム）

難治性真菌感染症 病態・検査から新しい治療戦略まで（日本医真菌学会共催シンポジウム）

なるほど微生物学講座 —不思議なミクロの世界—（細菌学会会員シンポジウム）

感染症 Emergency —症例報告を通して—（日本救急医学会との連携）

緑膿菌に学び、緑膿菌を操る（緑膿菌感染症研究会との連携シンポジウム）

Japan Sepsis Alliance シンポジウム（救急医学会、集中治療医学会との連携）

“AMR”

AMR Alliance Japan シンポジウム “今、私たちに求められる行動”

One Health シンポジウム —これからのサーベイランスと具体的活動—

AMR 対策サーベイランス： “誰が、何を、どのように”

MRSA 感染症に対する抗菌薬療法 —効果的な抗菌薬の選択を目指して—

CPE・CRE 感染症 —世界の動向，日本の疫学—

プラスミド性コリスチン耐性菌はヒトの健康に対するハザードか？

“感染対策・制御”

周術期感染症 —欧米のエビデンス，日本のサイエンス—

理論と実践で繋ぐ感染対策 —文化として育み，サイエンスに高める—

スーパーICN から学ぶ感染制御の“極意”

地方から始める、地方の特色を生かした感染対策

“小児科”

内科医も知っておきたい小児感染症の特殊性

ワクチン・シンポジウム —誰に，何を，いつ，その効果は？

ワクチンに関する誤解と真実

注目されるパレコウイルス A 感染症

インフルエンザ治療薬の特徴とポジショニング

重症インフルエンザ —細菌性肺炎の合併と重症化病態—

“STI”

薬剤耐性淋菌に潜む本当のリスク

増加する梅毒と求められる対応

変貌する肝炎ウイルス感染症 —性感染症の1つとして—

HIV 患者でみられる感染症の特徴とピットフォール

感染症医に求められる抗 HIV 薬の特徴と使い方

男女共同参画推進委員会企画

地方衛生研究所との連携促進

漢方薬シンポジウム —サイエンスから考える感染症への応用—

レジオネラ・シンポジウム —第 10 回国際レジオネラ学会 (2021) に向けて—

プロバイオティクス・シンポジウム —メカニズムから考える特徴と臨床応用—

糸状真菌症の診断におけるピットフォールと新しい展開

FN の病態と新しい予防・治療戦略

肺炎球菌ワクチン戦略を考える —多糖体ワクチンと蛋白結合型ワクチンの特徴と使い分け—

ファージ・シンポジウム —植物から家畜、そして人への応用—

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) —明らかになった事実、残された疑問—

ニューモシスチス感染症 —病態・免疫・アレルギー的視点からの考察—

ソリスロマイシン・シンポジウム —開発の経緯から臨床的インパクトまで—

感染性心内膜炎 —Duke に学び、Duke を超える—

JANIS データの活用と応用 —私たちの Big Data をどのように生かすか—

Unknown unknowns から Known unknowns へのパラダイムシフト

非結核性抗酸菌症 —なぜ慢性化するのか、なぜ抗菌薬が効かないのか—

Interferon- γ release assay —検査法の注意点から臨床現場での応用まで—

Clostridioides difficile 感染症 —ガイドラインを読み解き、臨床研究に繋げる—

重症・難治性 *Clostridioides difficile* 感染症 —症例検討からの考察—

三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会報告

一般演題：臨床-研究コンボ・セッション

症例発表のプログラムと基礎のプログラムを一緒のセッションで実施

一般演題： 苦いカルテ —“タラ・レバ”で考える症例報告—

症例報告の中で、“あの時こうしていれば……”という経験を共有。タラレバの中で次の症例に遭遇した場合の対応を含めて議論

ICD 講習会

東京オリンピック・パラリンピック特別講習会 —事例から考える危機管理—

司会： 館田一博（東邦大学）、川名 明彦（防衛医科大学）